

道路環境との関連でみた自動車運転意識の分析

金沢大学 正会員 ○川上 光彦 同 高山 純一 同 竹田 恵子

1. 研究の目的・方法 本研究は、道路環境との対応からみたドライバーの運転意識について明らかにし、今後の交通計画上の基礎資料を得ることを目的としている。調査は、運転時の事故を誘発する行動や意識、道路整備に対する意識、具体的には、運転意識(①住区内道路走行中の注意項目、②住区内道路上での子供の遊び、③住区内道路での歩行者への対応、④交差点渋滞時の運転行動)、および、環境意識(①速度抑制のための道路整備、②降雨時の路上の水たまりに対する運転行動、③市街地の道路整備の方向)について尋ね、個人属性、交通違反・事故経験、運転機会、運転時の意識との関わりについて分析している。調査は、石川県免許センターにおいて、1990年6月12~15日の4日間行った。石川県の自動車運転免許所有者を母集団とする無作為調査とほぼみなせる。調査票は受講者1031人に配布し、有効票964票(回収率93.5%)であった。なお、本報告は、石川県警による交通事故総合対策班が実施した調査を、筆者の責任でまとめているものである。

2. 運転意識 住区内道路走行中の注意項目では、「子供の飛び出し」が94%と最も多く、次いで「スピードの出し過ぎ」82%、「歩行者」73%、「自転車と接触」57%となっている。交通弱者に対する注意の割合が高く、「早めの合図」24%、「車間距離」26%、「前後車の流れ」27%といった項目の割合は低い。運転経験との関係では、経験年数の短い者は住区内でのスピード

の出し過ぎに中高年層より気を配っていないことが示されている。この傾向は、交通違反の有無に関して明確な差はみられないが、交通事故経験との関係を見ると(表-1)、事故経験回数が多い程「スピードの出し過ぎ」に気を配る割合は明らかに減少しており、それと共に「車間距離」、「早めの合図」に対する気配りの割合も減少し、「前後車の流れ」に対する気配りの割合が増加していることは、交通安全の面からみて好ましくない傾向である。

住区内での子供の遊びに対する意識については、「できるだけ遊ばない」78%、「ところにより遊んでよい」17%と全体的に路上での子供の遊びについては否定的な傾向がみられる。属性との関係でみると「男性」より「女性」の方が(表-2)、高齢者層の方が、運転経験年数の短いまたは長い方が、また、交通違反経験の無い方が、事故経験のない方が、それぞれ否定的な傾向がみられる。

住区内道路での歩行者への対応については、全体では「クラクションをならしてどいてもらう」44%、「むこうが気づくま

表-1 事故経験別住区内道路走行中の注意項目

注意 事故	スピード 超過	子供 飛び出し	自転車 と接触	歩行者	信号や 右左折	早めの 合図	車間距 離	前後車 の流れ	その他	合計
経験なし	422 81.5	491 94.7	302 58.3	390 75.3	241 46.5	128 24.7	137 26.5	144 27.8	13 2.5	2268 437.8
1回経験	251 83.3	277 91.9	166 55.2	210 69.8	132 43.9	76 25.3	79 26.3	75 24.9	9 3.0	1275 423.6
2回経験	73 79.4	88 95.6	55 59.8	68 73.9	44 47.8	22 23.9	19 20.7	28 30.4	3 3.3	400 434.8
3~4回 経験	26 68.4	37 97.4	20 52.6	27 71.1	20 52.6	7 18.4	9 23.7	12 31.6	2 5.3	160 421.1
合計	772 81.3	893 94.0	543 57.2	695 73.2	437 46.1	233 24.6	244 25.7	259 27.3	27 2.9	4103 432.3

表-2 住区内道路上子供の遊び意識

意識 性別	遊んでは いけない	遊んでも よい	その他	合計
男性	435 75.4	116 20.1	26 4.5	577 100.0
女性	306 83.2	48 13.0	14 3.8	368 100.0
合計	741 78.4	164 17.4	40 4.2	945 100.0

表-4 交差点渋滞時の運転意識

意識 違反	近道を通 る	信号の方 を通る	合計
経験なし	71 37.8	117 62.2	188 100.0
スピード 違反	332 60.5	217 39.5	549 100.0
駐車違反	156 65.0	84 35.0	240 100.0
一時停止 違反	142 65.4	75 34.6	217 100.0
信号無視	62 66.7	31 33.3	93 100.0
その他	109 68.1	51 31.9	160 100.0
合計	872 54.9	575 45.1	1447 100.0

表-3 住区内道路の歩行者への対応

意識 事故	どいても らう	できるだ り待つ	その他	合計
経験なし	211 41.4	277 54.3	22 4.3	510 100.0
1回経験	132 44.2	159 53.1	8 2.7	299 100.0
2回経験	48 52.7	36 39.6	7 7.7	91 100.0
3~4回 経験	19 52.8	16 44.4	1 2.8	36 100.0
合計	410 43.8	488 52.1	38 4.1	936 100.0

できるだけ待つ」52%と、約半数が待つとしている。属性別では、若年、高齢者層に、また、運転経験の短いまたは長い者に「待つ」が多く、その中間層では「どいてもらう」の方が多く、自己中心的な運転傾向がみられた。また、事故経験についても(表-3)、経験が増すにつれて「どいてもらう」割合が高くなっている。

交差点渋滞時の運転行動については、「ほとんど近道を通る」55%、「できるだけ信号の方」45%である。この項目については属性間で明確な差がみられた。すなわち、「男性」、「20~39歳」、運転経験が「2~19年」、「交通違反あり」で「近道を通る」割合が高く、「女性」、「40歳以上」、運転経験が「1年以内」または「20年以上」、「交通違反なし」で「信号の方を通る」が高くなっている(表-4)。また、交通事故経験では、事故経験の多い方が「近道を通る」割合が高い傾向がみられた。

3. 環境意識 速度抑制のための道路整備に対する意識については、「極力限定する」68%、「もっと増やしてよい」23%、「理解できない」6%と、全体的に否定的な運転者が多い。属性別では、女性、若年層、運転経験の「1年以内」を除いた比較的運転経験の短い者、交通違反・事故経験のない者でやや否定的な傾向がみられた(表-5)。

降雨時の路上の水たまりに対する運転意識については、「スピードを落とす」89%に対して、「そのまま走る」6%、「あまり気にしない」5%とほとんどの車が注意して走っているとしている。属性間の差についても、運転経験の長い方がややその傾向が強くなり現れている他は明確な差はみられなかった(表-6)。

最後に、市街地の道路整備の方向では、「車が走りやすいように」39%、「歩行者が歩きやすいように」36%、「自転車が走りやすいように」13%を占め、自動車と歩行者それぞれの立場からの整備がほぼ同数の割合になった。性別では、「男性」の方がやや「車」の方を(41%)、「女性」の方が「歩行者」(38%)、「自転車」(16%)の方を重視した整備を望んでいる。年齢別では(表-7)、若年層で「車」の方を、中高年層で「歩行者」の方を重視した整備を望んでいる。また、運転経験では、特に「1年以内」で「歩行者」の方を重視する割合が60%と高くなっている。交通違反経験では、特に「1年以内」で「歩行者」の方を重視する割合がやや高くなっている。また、「違反あり」、「事故あり」とも「自転車」重視の割合がやや高くなっていることも興味深い。

4. まとめ 運転者の意識構造についてある程度明らかにすることができた。調査が講習会時に行われたため、規範意識に沿った傾向の回答が行われている可能性がある。しかし、相対的に一般的な傾向を把握できたと思われる。交通計画では、運転者に対して以上のことを考慮した道路環境に応じた運転上の教育を行い、住区内街路等についても効果的な交通規制、道路整備を行っていく必要がある。

表-5 速度抑制のための道路整備に対する意識

年齢	意識できない	もっと増やしてよい	極力限定する	その他	合計
20~24歳	13 9.8	16 12.0	98 73.7	6 4.5	133 100.0
25~29歳	6 4.8	23 18.4	89 71.2	7 5.6	125 100.0
30~39歳	16 6.0	57 21.2	187 69.4	9 3.4	269 100.0
40~49歳	9 3.7	69 28.5	158 63.3	6 2.5	242 100.0
40~59歳	8 7.9	25 24.8	67 66.3	1 1.0	101 100.0
60~64歳	4 12.9	6 19.4	21 67.7	0 0.0	31 100.0
65歳以上	2 5.4	15 40.5	20 54.1	0 0.0	37 100.0
合計	58 6.2	211 22.5	640 68.2	29 3.1	938 100.0

表-6 降雨時の路上水たまりに対する意識

意識	あまり気にしない	そのまま走る	スピードを落とす	合計
経験なし	11 5.8	8 4.2	170 90.0	189 100.0
スピード違反	25 4.6	30 6.9	485 88.5	548 100.0
駐車違反	6 2.5	12 5.0	222 92.5	240 100.0
一時停止違反	10 4.6	17 7.9	189 87.5	216 100.0
信号無視	5 5.2	6 6.3	85 88.5	96 100.0
その他	8 5.0	9 5.6	144 89.4	161 100.0
合計	65 4.6	90 6.1	1205 89.3	1450 100.0

表-7 年齢別道路整備の方向意識

年齢	車	歩行者	自転車	その他	合計
20~24歳	65 50.0	36 27.7	14 10.8	15 11.5	130 100.0
25~29歳	45 36.6	40 32.5	14 11.4	24 19.5	123 100.0
30~39歳	99 38.1	82 31.5	39 15.0	40 15.4	260 100.0
40~49歳	82 34.6	91 38.3	30 12.7	34 14.4	237 100.0
40~59歳	37 36.3	44 43.1	14 13.7	7 6.9	102 100.0
60~64歳	11 37.9	14 48.3	3 10.3	1 3.5	29 100.0
65歳以上	13 38.2	17 50.0	3 8.8	1 3.0	34 100.0
合計	352 38.5	324 35.4	117 12.8	122 13.3	915 100.0